

教えて！先輩「ロールモデルに学ぶ①」

講師への5つの質問

氏名	A 氏
企業名	一般企業 総務課

(1) 現在、仕事をする上で、大学時代の経験で役に立っている、と思うことは何ですか？

経理マンは業務上、様々な人と関わる事が多く、折衝能力も求められます。

学生時代、テニス、手話サークルなど色々なサークルなどに足を運び、色々な人と関わってきたので人に慣れていたこと、また色々なサークルの運営にも携わり、その会議などで培った折衝・判断能力は、今の仕事に大きく役に立っています。

(2) どうしてその仕事をしたいと思ったのですか？また、自分のどういう面を評価されて採用されたと思いますか？

実は私は経理を希望していなかったのですが、たまたま経理課のニーズがあったらしく経理課に配属となりました。評価されたのは・・・笑顔でしょうか？(笑)

(3) 現在、職場でのコミュニケーションで困難を感じるのはどんな時ですか？その時どう対処していますか？

私は普通に声を出して話す事が出来ます。しかし、それがかえって逆に「普通に話せる＝こっちの話も聞こえているのだろう。」「補聴器を付けているのだから聞こえるのだろう。」とよく思われていることが多いです。そこが一番困難なところだと思います。

聞き取れなかったら必ず聞くようにしています。もう一度言ってもらえるのも気が引けるかとは思いますが、相手が「聞き取れなかったら怒る」というのは筋違いですし、遠慮はいらないかと思っています。

(4) 仕事をする上で1番大切だと思うことは何ですか？

私は真っ先に「コミュニケーション」を挙げると思います。確かに聴覚障害者は仕事をする上で、コミュニケーション面でハンデがあると思います。実際に仕事する上でコミュニケーションは非常に大きなウェイトを示しているのです、他の障害者と比べると大きく不利だと思います。

しかしながら、「コミュニケーションが難しいからいいや・・・。」と割り切るのではなくて、自分から努力してその壁を壊しにかかる事が大事なのではないでしょうか。つまり、周りからのアプローチを受け身で待つのではなく、自分から積極的にアプローチをする事が大事だなと思います。

例えば、私は会社の人とすれ違った時に必ず相手よりも先に挨拶をするように心がけています。その小さな一歩からコミュニケーションは始まるのだ、と思います。

(5) あなたの職場の同じチームに視覚障害者（全盲）が配属されました。どうやってコミュニケーションを取りますか？

私ならず、全盲の方の立場になって考え、どのようなコミュニケーションが望ましいか、サポートや配慮を必要としているのか、などを考えてみることから始めると思います。

全盲の方は「視覚における情報」が欠けますので。（聴覚障害の方は「聴覚における情報」ですね。）

その後で全盲の方と実際に話して、仕事をしていく上でどのようなニーズがあるか聞き出します。それを踏まえた上で、ニーズに合った配慮、サポートをしていく事になると思います。

一番大事なのは本人と話す事だと思います。